

令和3年度立正大学長野県同窓会からのお知らせ おかげさまで創立57年を迎えました

ご挨拶

謹啓 時下ますますご清祥にてご研鑽の事と拝察申し上げます。

新型コロナ禍下でありながら、会員の皆様方の粘り強い取組みに敬意を表します。新型コロナ感染防止で「社会的距離をあけよ」いわれませんが、あけるのは「物理的距離と身体的距離」で、人と人の「つながり」を空けてしまってはならないと思うところです。

本部助成金が大幅に減額された状況ではありますが、歩みを止めることなく活動を続けてまいります。

コロナ禍の緊急事態宣言は解除されましたが終息が見通せません。会員の様方にはくれぐれもご自愛ご健勝のほどご祈念申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。 敬白

コロナ禍による令和3年度公開講座・定期総会・懇親会の中止と 役員総会の開催について

コロナ禍により本年度も公開講座・定期総会・懇親会を中止し、10月2日(土)に松本市で第2回代表者会議と役員総会を開催し、全会一致で議案の承認をいただきました。つきましては経過と議案にご理解を賜りますようお願い申し上げます。



代表者会議・役員総会会場 松本市なんなん広場 松南地区公民館

令和3年度代役員総会議案概要のご報告

長野県同窓会では事業報告・収支決算・監査報告、当初事業計画案・当初収支予算案、役員改選、その他重要事項は代表者会議の議を経て総会で承認することが会則で定められていますので、これに基づいて運営しています。10月2日(土)に松本市で開催しました役員総会の議案をご報告申し上げます。

1、令和2年度事業報告案・収支決算案・監査報告承認の件

審議の結果承認されました。(第1回代表者会議承認・第2回代表者会議確認)

2、令和3年度当初事業計画案・当初収支予算案承認の件

審議の結果承認されました。(第1回代表者会議承認・第2回代表者会議確認)

3、次期役員承認の件

退任役員と後任役員の承認ならびに任期満了に伴う次期本部代議員が承認されました。

(第1回代表者会議承認・第2回代表者会議承認)

4、令和4年度事業計画案と収支予算案取り扱いの件

コロナ禍の終息が見通せない状況のため当面は令和3年度の事業と予算を継承し、感染状況をみながら対応することが承認されました。公開講座・定期総会・懇親会の開催につきましてはあらためてお知らせいたします。

5、令和3年度本部助成金取り扱いの件

経過と問題点

令和2年度から実施された支部学部助成金変更内容について昨年度の長野県同窓会の代表者会議で多くの問題点が指摘されました。今年度に本部理事会は支部が助成金を申請する際に「未実施の助成金については、活動が実施されるまで当該助成金を申請いたしません」の誓約条件を課しました。

これは助成金制度の変更にあたります。

令和3年度代議員会質疑回答書には「今後の制度変更にあたっては、周知のタイミングを複数回設けるなどきめ細やかな対応を図って参りたいと存じます」とあります。

これにつきまして支部への事前の意見聴取もなく、本部代議員会の事業計画書や一連の通知、助成金通知文書などには主旨説明や本部理事会の審議経過説明などありませんでした。

9月10日付で斉藤会長・赤羽総務委員長・林事務局長(校友課長)あてにこれらについて問い合わせた結果、9月21日付で「回答しない」との回答がありました。

長野県同窓会の対応

上記の新たな申請条件について代表者会議と役員総会で多くの問題点が出され、本部斉藤会長の回答内容を協議し、この条件の取り消しと問題点の指摘を申し入れることが承認されました。

本部理事会の議事録には上記の新たな申請条件を審議した記載はありませんでした。

会報第35号を発行しました

会報の制作は記事や写真を自主製作し、独自に割付用紙を作成し、全ページを完全割付指定方式で編集の効率化と経費節減を両立しています。

会報は皆様への情報提供と誌面を通じた文化研修を主旨に広報事業の一環として発行し、おかげさまで35年を迎えました。

予算の関係で約2,000名の会員の皆様全員にお届けできませんが、北信・東信・中信・南信の県内4地区各125名様にお届けさせていただいております。

35号では「令和2年度創立55周年記念公開講座にかえて＝「旧開智学校校舎の国宝指定と令和2年度公開講座延期～記念講演会予定講師石山秀和立正大学文学准教授との交流～」(平5・立正大学文学

部史学科卒・松本市・国宝松本城観光ボランティア)を掲載しました。

	
<p>国宝 旧開智学校校舎 松本市 撮影 久保田 剛長野県同窓会事務局次長</p>	

昨年度から本部助成金が実質約90,000円減額されました関係で、従来の16ページから8ページに減らして発行しました。厳しい財政事情でございますが、今後とも継続して発行させていただきます。

**立正大学長野県同窓会年会費と未来振興基金のご案内
ご協力のお願い**

永年にわたり会員の皆様方のご協力をいただき御礼申し上げます。ご協力をいただきました年会費と未来振興基金は、長野県同窓会の貴重な財源として活用させていただいております。会員の皆様方には本年度も変わらぬご支援とご協力をお願いを申し上げます。長野県ご出身で他県でご活躍の卒業生皆様方にもご高配を賜りますようお願い申し上げます。

年会費(1,800円)

活動費に使用させていただいております。令和2年度から本部助成金が減額された関係で経費節減に努め会務を継続させていただいておりますが、厳しい財政でございます。皆様方のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

未来振興基金(寄付金1口500円)

平成30年度の飯田市開催の総会で、全国48支部にない本会のオリジナル基金として今後の活動継続と振興事業や周年事業・災害緊急活動費をはじめ北信・東信・中信・南信の県内4地区会の事業や活動支援、災害緊急活動支援費などを主旨に特別会計とすること・寄付金を1口500円とすること・これに伴う取り扱い細則が承認されました。おかげさまで多くの皆様にご協力を賜りました。この場をお借りしてお礼申し上げます。今後とも皆様方のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

未来振興基金・県会費のお振込みについて

ゆうちょ銀行振替口座 口座記号 00520—8 口座番号 40833

加入者名：立正大学長野県同窓会

* 未来振興基金と県会費は合算して合計額をお願いします。ご協力いただきました未来振興基金は全額特別会計の未来振興基金に入金させていただきます。

長野県同窓会の公開講座を振り返って

令和2年度から新型コロナウイルス禍で公開講座を中止しています。これまでに開催した公開講座を振り返ってみました。(講師の肩書は開催当時のものです)



平成26年度 飯田市 飯田シルクホテル

「災害と地名～地名は生きている～」

講師 中島正韶氏

昭39年立正大学文学部史学科卒

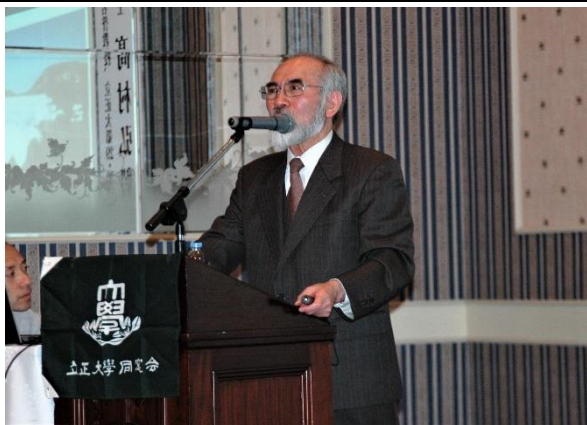
立正大学長野県同窓会会長

長野県シニア大学講師

長野県生涯教育推進委員会委員

飯田市社会教育委員会委員長

上郷史学会会長



平成27年度 上田市 上田高砂殿

創立50周年記念特別公開講座

「空・水・台地、そして人々～地球温暖化政策の狭間で水資源問題を考える～」

講師 高村弘毅先生(文学博士)

第29・30代立正大学学長・立正大学

名誉教授・初代立正大学校友会会長

2014年瑞宝中綬章受章



平成28年度 松本市 ピレネ松本
「山国信州は海だった～1億3,000年前の海生哺乳類動物の化石に聴く～」
 講師 市川恵一氏
 昭47年立正大学文学部史学科卒
 立正大学長野県同窓会同窓会副会長
 松本市四賀化石館館長・



平成29年度 長野市 ウェストプラザ長野
 祝長野新幹線20周年記念公開講座
「八幡屋礒五郎の根本～創業280年 信州の七を世界の SHICHIMI へ～」
 講師 室賀 豊氏
 立正大学文学部国文学科卒
 株式会社八幡屋礒五郎代表取締役社長



平成30年度 飯田市 飯田シルクホテル
 祝『信濃の国』長野県歌制定50周年記念公開講座
 かげさまで創立53年、学舎のご縁・学友のご縁・地域のご縁を未来へ
「今、石橋湛山から何を学ぶか」
 講師 増田 弘先生(法学博士)
 初代立正大学石橋湛山研究センター長
 総務省平和記念資料館名誉館長



令和元年度 上田市 ホテル祥園
 令和元年記念公開講座
「徳川を2度も打ち破った上田城～その見所をプラタモリのウラ話を交えて～」
 講師 和根崎 剛氏
 上田市教育委員会生涯学習文化財保護課係長・学芸員

令和2年度に予定していましたが新型コロナのため延期し令和3年度も延期しました。新型コロナ終息の際は再開を予定しています。



令和2年度 松本市 ホテルモンターニュ
長野県同窓会創立55周年記念・旧開智学校校舎国
宝指定記念公開講座

「信州松本の庶民教育～寺子屋(手習塾)から開智
学校～」

講師 石山秀和先生(文学博士)
立正大学文学部史学科准教授
立正大学大学院博士後期課程単位取
得満期退学博士(文学)



諏訪湖から見える富士山

令和3年10月26日 立正大学長野県同窓会